

件名	第9回丸森町復興推進本部会議		
期間	自令和 2年 6月 17日	場 所	丸森まちづくりセンター 2階大集会室
	至令和 年 月 日		
内 容			

1. 開会（司会：復興推進室 日下補佐）

2. 町長あいさつ

昨年12月の第1回に始まり、本日で9回目の本部会議となりますが、「丸森町復旧・復興計画」は、この場での協議を経て、正式に決定することになります。

本計画は、これまで、「復興推進委員会」での議論をはじめ、パブリックコメント等で頂戴した多くの皆様の御意見、さらには議会との丁寧な対話を反映し、お手元に配布している「案」に至っております。

私たちが計画に掲げる復興の道のりは長く、険しいものになることは間違いないと思います。

しかしながら、次代につなぐことのできる、新たな丸森^{まき}づくりに向け、すべての町民、すべての職員が手を携え、計画に記した具体の取組を一つひとつ、着実に実行すれば、その歩みは必ずや目的とする場所にたどり着くことができると固く信じております。

皆様におかれましては、今日のこの日が町政史上最悪の台風被害から立ち上がり、誰一人取り残さない、町民に寄り添った復興を成し遂げる、新たなスタートの日であることを心に刻むとともに、町民の一日も早い生活再建が実現できるよう、協力して取り組んでいただきたいと存じます。よろしくお願いいたします。

3. 議題

丸森町復旧・復興計画（案）について《説明：復興推進室長》

- ・変更箇所は、朱書きで修正している。最終案から大きな変更はなく、被害状況や寄付金の額などを最新の状況で記載した。
- ・7章については割と朱書きが多いように見えるが、基本的な考え方は変わっていない。わかりにくかった表現（書きぶり）を改めた。

【質疑等】

○学校教育課長

1点確認したい。先日の（議会）6月定例において、鎮魂の日の制定があり、そのほかに町民に対して初めて災害見舞金（以下、見舞金）を支給する決定があった。これについては、復旧・復興計画に何らかの位置づけはしなかったのか。

復興推進室長

確かに、6月定例会の中で見舞金の支給が決定している。これに対しては、復興推進委員会の協議を経た後に、町からの見舞金支給が決定したということで、計画には盛り込まなかった。ただし、見舞金に限らず、この計画に入っていないから実施しないということではなく、今後も様々なことを含めて復旧・復興を進めていきたいと考えているため、ご容赦頂きたい。

○学校教育課長

見舞金を町民に対し初めて支給することは、記録として残さなくても良いという判断なのか。せっかく町民に対して支給することを、1行でも2行でも計画に残した方が良いと思う。

復興対策監

考え方としては、先ほど室長から申し上げたとおりではある。確かに記録として載せることは一理あるため、(計画に修正を加えることが)差し支えなければ項目化して修正したいと思う。

復興推進室長

それでは、見舞金については計画に項目を記載する形で修正する。

○町長

ほかに、御意見等が無いので、ここに丸森町復旧・復興計画を決定する。

4.その他

復興推進室長

本日の復旧・復興計画決定に至るまで、復興推進室が設置されて6か月が経過し、本当にタイトなスケジュールの中、皆さまから様々な御協力を頂き、感謝申し上げます。

今後は、復旧・復興計画に策定経過や用語の解説等を加えて7月下旬に復旧・復興計画の冊子を制作し、議員や関係機関等へ配布する。あわせて概要版を作成し、8月に全戸配布する。

また、将来のまちづくりを担う子ども達にも復旧・復興計画を伝えるべきとの御意見があったことから子ども版の冊子またはパンフレットを作製し、学校を通して配布したいと考えている。

復興推進室の今後の役割としては、復旧・復興事業の進捗管理や重点プロジェクトのフォローをしたいと考えているので、引き続きよろしく願います。

以上